

2011年 7月

# そらもよう



\* 2011年7月1日発行 \*

発行 特定非営利活動法人

手仕事工房そら

〒321-4225 芳賀郡益子町長堤 545-1

TEL0285-81-7706 FAX0285-81-7718

暑いですね～！じめじめして、ムシムシして、テンション下がりますよね～！…と言いたいところではありますが、こんな空もようであっても、そらのみんなは((-)ちゃんと読みとってね!) 本当にパワフルであります。朝の送迎車なんて、運転している職員が思わずハンドルから手を離して耳をふさぎたくなるほどにぎやかです(あ、実際には手離しはしていませんよ!)

## そら開所式!

平成 23 年 5 月 14 日 (土)

4月1日に開所した「手仕事工房そら」の開所式がいよいよこの日行われました。

「そら」の名にふさわしい晴々とした青空の下、第一部の式典が始まりました。大塚益子町長をはじめ、広田茂十郎町議、美里学園の佐藤理事長より身に余るような素晴らしいご祝辞をいただき、我らがキャプテンである松嶋理事長は職員みんなの気持ちを代弁するように、ここまで来れた事への感謝の気持ちや、これからの意気込みを語ってくれました(人生には「まさか」という坂がある…って話、良かったです! 成)

休憩をはさみ第二部は、なかまたちのステージ(ま、単なるガレージなんですけどね)です。日ごろ頑張って練習した歌や、大好きなダンスをみなさんの前で発表しました。いつもノリノリのり君が、当日朝のリハーサルは緊張していつもの声が出ません。みんなの顔もガチガチです(これこそ **まさか!** という坂 です) でも、いざ本番になるといつもの通りのノリに戻るこのプロ根性! たいしたものです。交流会後はお客様たちと一緒にお腹いっぱい料理を食べ、すっかり満足マンゾウななかまたちでした。

限られた時間の中で、開所式を無事に執り行うことができたのは、大活躍の保護者のみなさんと、式に参加して下さったお客様、いつも応援して下さる地域の方々など、多くの協力があつたからだと思います。この日のお料理は、なかまたちのお母さんと職員で作りました。お土産の苺は地元の自治会長さんが当日朝摘みして下さったものです。お赤飯はそらの目の前にある「南部ふるさと直売所」をお願いして無理を言って炊いてもらいました。

手作りの開所式いかがだったでしょうか? たくさんのお愛をいただいて誕生した「手仕事工房そら」をこれからどうぞ宜しくお願いいたします。

たなか ちひろ (職員)



### 「そら」の応援団メッセージ その1

#### 「えー!? この建物をお!?!」

「この建物なんですけど再生出来ますか?」最初に松嶋理事長に案内されたとき、正直「この建物を…?」というのが第一印象でした。さらに輪をかけて「内装、外装にこのレトロな感じを残したいんです」とのお話に「えっ!!」と思いながら建物の中に入ってみました。すると構造的には意外としっかりしていたので「少し手を入れたら何とかかな?」…そんな感じでした。

手仕事工房とお聞きしましたので、手作りで尚且つ無垢の国産材、自然素材を活かして温もりのある空間を末永く使っていただけるようにコンセプトを持ち、作業をさせていただきました。

先頃の開所式、建物内覧の一コマで、スタッフの皆さんが「奥のトイレの方もぜひご覧になってください」と自慢気にゲストの方々に案内されている姿を見かけました。改めて物づくりの一人として、仕事をさせて頂いて「良かった」と思った瞬間です。

一歩一歩前進している「手仕事工房そら」を陰ながら今後とも応援しております。

有限会社 荒井材木店 社長 荒井勇雄さま



改築前の「そら」

\* 毎月いろんなみなさんからのメッセージを連載します。



## 《とらどう誕生物語》第一話

開所式も無事に終わり、梅雨も近づく六月の初め、そろそろ本腰を入れて“食品製造販売”のお仕事を進めていこうと考える職員一同なのですが…「じゃあ、何をメインでやったらいいの？」と頭を抱えていたところに「どら焼きとか楽しいんじゃない？」と無責任につぶやく某職員。「えー！鉄板とかいるでしょ。そんなお金ないでしょ」と全職員の心の声…(-\_-)

ところが、ツイてる事業所はここからが違います。→「どら焼きなら、作れる人がいるわよ。紹介してあげる？」と救いの女神さまが現れてしまいました…この方こそが、そのなかまのお母さんで、真岡では知る人ぞ知る有名マダムが渡邊美恵子さんです。食品担当チームは声を揃えて「お願いします！」と即決です（所長の許可も得ずにダ？）

さて、そんな訳で女神から紹介して頂いたのが、真岡のどら焼き名人こと入江さんですが…なんと！指導だけじゃなくて、鉄板他必要な道具一切合切丸ごと貸与していただけることになり、「ばんざ〜い！ばんざ〜い！これで6月の天の織姫市（注①）にお店を出せるぞー！仲間に工賃支払えるぞ〜！と超前向き（能天気）な職員です。

しかし…世の中そんな簡単なのか？…そんな甘いのか？しかも“名人”が「一回練習したぐらいじゃ実践は無理よ！当日は私も行きます！」とおっしゃるのです…とりあえず今月の「天の織姫市」（6月12日）の直前に“名人”による職員”のどら焼き特訓”が行われましたが、想像以上の手際良さを要求され、頭もお目目もグルグルのこんなんでも果たしてどら焼き屋さんなんてできるのでしょうか〜？？？しかも！主役のはずの“そら”の仲間たちの出番はいつのいつなのお〜！？

\* というわけで、このドタバタは次号につづく…

いいの ともみ（職員）

\* 注①…「天の織姫市」とは…真岡の商工会議所と地域の様々な人たちが、真岡木綿会館エリアの活性化を図るために「天の織姫市実行委員会」として三年前から“テント市”をはじめました。音楽・市民パフォーマンスやちびっこ広場、地元の味のカラフルテントが並ぶとても楽しい催しです（二ヶ月に1回開催中）

《あたくしが は？》

《サトイモ王子です》

以前から『畑を借りて何か作って売ったりしたらいいんじゃないの？』『たとえばジャガイモでコロケ、サツマイモで焼き芋、サトイモで田楽…』等々（何故芋ばかり浮かぶのか?!） そんな話題でにぎわっている頃、理事の堀中さんから『畑使っていいわよ』とうれしいお誘い（やっぱり、ツイてる事業所はちがうでしょ！(成) さっそく、では何を？ 五月中旬の頃にジャガイモは遅いし…とそこでサトイモに白羽の矢が。すぐに種芋を用意して頂き、畑作業従事隊を結成。隊員募集で手を上げてくれたのが女性1名男性2名の有志。長靴と軍手、そしてクワを持って無事植えたまでは良かったのですが…、その後、水をあげに行くたびに「芽はまだかな〜」が合言葉になったのは言うまでもありません。あんまり出ないので、保護者会の有識者に聞いてみると、かなり深く植え込んだのでは？とのこと。確かに思い当たります。しかし皆には言えず、密かに早く出てくれ〜と願う今日この頃です。

まつしま しんいち（所長）

### 【追記】

原稿を書いている  
6月14日現在、  
ついに“芽”が  
出ました〜！！(成)



「おらあ、家で畑手伝ってっからよ、何でもわかるんだ！」

（お父さん曰く、手伝いなんかしたことないと言っていましたけど…）

…その後の「畑作業従事隊」ですが、地元“上山サルビア会”の福田さんから茄子とししとうの苗を頂き、これまた順調に育っています。これから農作業には厳しい季節ですが、頑張っておいしい野菜を作ります！ 今のご期待を♪

## キャプテンのラーメン屋さん



毎週金曜日の昼食は、“食”担当の職員が栄養のバランスやみんなの好みを取り入れたメニューを考えての「お楽しみ給食」になっています。6月3日の金曜日もまた仲間たちは楽しみにしていましたが、この日は行事の前で準備に忙しく職員の数も足りません。今回のお楽しみ給食は諦めようかと考え始めていたその時…

「私が仲間と作りましょう」とさわやかに切り出したのが、当事業所の管理者、通称「キャプテン」です。…「えっ??」という周囲の反応ではありましたが、このキャプテン実は裏の顔がグループホームの世話人さんですから、そりゃ調理はお手の物! その腕を見込んでお任せすることになりました。…で、いったい何を ごちそうしてくれるのか尋ねると…(‘-)イ、インスタントラーメン??

ということで、助手のみかちゃんとおそろいのエプロンを着け、コンロを外に持ち出してのわか屋台ラーメン屋です。ちなみにこの時間は他の仲間も職員もお仕事中ですから、このいい匂いを嗅ぎながら仕事に集中しろと云うのは酷な話です。

さて、完成したインスタントラーメン、もちろん味はバッチリ! 次は何を作ってもらおうかと早くも次回作の話まで出たほどです。…が、実際のところこの成功の裏には、職員のいーのちゃんたちが作った野菜炒めが乗っていたおかげではないかと云うのは大方の意見ですが、得意になっている二人には秘密です。

まつしまふみこ (職員)

## とろに新しい仲間が加えられました

この写真→の一番左側の彼です。手島さんと云います。真岡から通っています。年齢は秘密です\* まあオジサン年齢なんです、実際に会ってみると真ん丸小さな顔で、浅黒く日焼けし、とても若々しく可愛らしいお顔をしています。(失礼! きっと本人は韓流スターのようなイケ面でカッコイイと云ってほしいと思いますが…)

仲間の中では最年長で、若い子たちとは親子ほどの年齢差があるので、仲良くなれるかが心配でしたが、あっという間に打ち解け、陶器の仕事や畑仕事に日々精を出しています。

小さい子供を見ると「かわいいな~何歳なの?」と声をかけるやさしいオジサンです。でも次のセリフが「俺もこんなかわいい弟が欲しいなあ」と云うので、職員たちは心の中で「手島さんよ、それを言うなら孫だろ…」と思うのですが声に出しては言えません。

お客さんが来ると、まず先にやってきて自己紹介をする礼儀正しい方です。

みなさん、どうぞよろしくおねがいします。

かとう さなえ (職員)

\*実は…手島さんは、このかとうさんのファンです。あ、ごめん!



畑作業従事隊の集合写真です。応援してくださいね。

## プラネタリウムにいきましたのよ…の巻

桜の春も終え、初夏を感じさせる5月28日に井頭公園ハイキングを計画したのですが、どうも天気予報では雨が降らしい…と云う事で、あわてて職員で相談して「真岡市科学教育センター」というお堅そうなところで、「ぷら寝た竜有無」(←これリアルな誤変換Ⓢ)もとい、プラネタリウムなるものを予約してしまいました。タダでさえにぎやかなこの仲間たちがはたして静かに観覧できるのでしょうか？ で、本人たちの最大なる感心事は訳のわからんカタカナ語よりも、当然お弁当はいったいどこでどんなのを食べるのか！？です。

さて、当日のお天気は曇りⓈ…なんだい、雨じゃ無いじゃないか！とプラネタリウムの施設の中に入ると、何とも落ち着くほの暗さ、そしてリラックス満点のリクライニングな座席Ⓢ…これはまずい！静かにしないと追い出されるぞ！とそればかりを気にしていた職員たちはこの「ぷら寝た竜有無」の本当の怖さを知るのです。…で、仲間たちと云えば、着席するとすぐにリクライニングで寝そべり、職員の緊張をよそに静かに観覧しています。あらゆる事に対処できるようにと座席まで決めて睡魔と闘いながら頑張った職員のみなさん、本当にごくろうさまでした。

さて、仲間のみなさんお待ちかねのお弁当タイムは、当初の計画だった井頭公園へ行き、お池の前でのんびりゆっくり食べました。どうせだから散歩もして、なかなか充実した一日でしたね。

そういえば、プラネタリウムの会場で地震が起きたんですⓈドキリ！です。しかーし、いつもながらキャーと、オー！とも言わない仲間たち、逆に心配ですよⓈ(+o+)Ⓢ

たむら のりこ(職員)

( ‘:’ )

宇宙ってこんなにも深いものだったのですね…\* (某姉様)

うかつにも、その宇宙に吸い込まれるところだった…Ⓢ (たむ)

(+o+)



## そらがプリンを作らってホント？！

と、云いますのはね、真岡市は苺生産日本一！！と云う事を、まだわかっていない方が多すぎる！しかも先の震災の風評被害でイチゴ農家はとっても困ったことになった！…そこで真岡の観光情報を発信するNPO法人「いろは企画」さんが「よし！東京の有名パティシエに頼んで特産品「とちおとめ」を使ってのレシピを作ってもらおう！」と立ち上がったのが事の始まりです。→→→それで生まれたのが「真岡乙女プリン」！そのプロジェクトになぜ我ら「手仕事工房そら」が加わったのかと云いますと…①金はないけど人はいる②益子だけど真岡に近い③職員にお菓子を作れちゃう人がいてウズウズしている④仲間の工賃が激安！⑤真岡のお蕎麦屋さんがお店を閉じてしまうのでその厨房をしばらく無償で貸してくれることになった⑥出荷の時期を終えた苺ハウスで、汗だくで苺を摘み続けるド根性な仲間が沢山いる⑦プリンが大好き…以上の理由から参加させてもらうことに決定しましたが、実は厨房が完全に使えるようになるのはもうちょっと先なんです。急いで仕事を仕損じる！…ということで、たくさん宣伝してもらっちゃってちょっと冷や汗な私たちですが、秋にはプリンだけでなく、おいしい物をたくさん作りますから今しばらくお待ちくださいね♪ なりた ゆきこ(職員)

ここまで読んで頂き本当にありがとうございます。でもここからが本題です。

＼(◎o◎)／！ええっ！？Ⓢ

手仕事工房そらでは、本年度の賛助会員を大募集しております。一口1,000円で何口でもOKなんですよ。賛助会員になるといいことが沢山！！…たとえば、…Ⓢえ〜と、そらにエアコンが入れられるかもしれない(え！！エアコンがない！？)…それから、ニュース「そらもよう」が郵送もしくは手渡しでお手元に届く！(新鮮な手仕事ネタをお楽しみください)そ、それから…(>\_<)Ⓢ…と、とにかく、そらの活動に皆様のご協力をお願いします！

\* 申込用紙と振込用紙を用意しておりますので、ご連絡ください→0285-81-7706

